

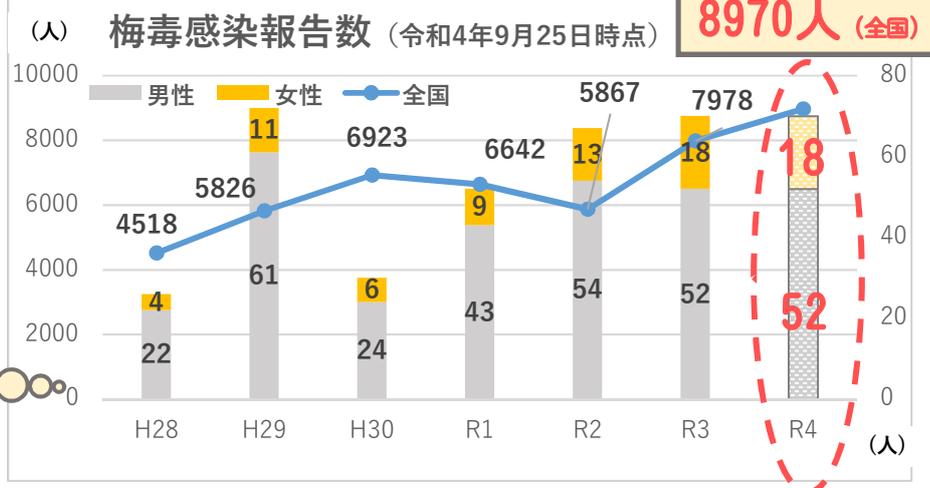
梅毒は昔の病気ではありません！

報告数
急上昇中

梅毒は「梅毒トレポネーマ」という病原菌による性感染症の一種で、おもに性行為やキスで感染します。

この数年、全国的に感染者が増加しています。香川県では毎年70人程度の報告がありましたが、今年は過去最多ペースで感染者が増加しています。

20代の女性、
20~40代の男性
を中心に感染者が
増えてえています。



梅毒はどんな症状がでるの？ (ほとんど気づかずに進行します)

- 感染部位 (主に性器、口、肛門) にできもの、しこり、ただれができる。
- 手のひら、足の裏、体に赤い発疹がでる。
- ※治療をしなくても症状が消えることがありますが、病原体は体の中に残っています。進行すると眼、脳、心臓などに障害が出ます。
- ※妊婦さんが感染すると、赤ちゃんに感染し、流産、死産、早産などの原因になるほか、先天性の障害を起こすことがあります。

感染が心配なときは？

- 症状があるときは医療機関 (皮膚科、泌尿器科、産婦人科など) を受診しましょう。
- パートナーと一緒に検査を受けたり、治療をすることが大切です。
※梅毒の検査は「血液検査」です。少量の血を採って検査をします。
- 症状がなくても、心配な性的接触があった場合は検査を受けましょう。

左記の保健所ではH I V検査と同時に梅毒の検査を受けることができます。(事前予約制)

※性感染症に感染するとH I Vにも感染しやすくなります。

小豆保健所	小豆郡土庄町淵崎甲2079-5 TEL:0879-62-1373	第3木曜日 10:00~11:00
東讃保健所	さぬき市津田町津田930-2 TEL:0879-29-8261	第3水曜日 9:00~12:00
西讃保健所	観音寺市坂本町7-3-18 TEL:0875-25-2052	第3月曜日 9:00~11:40

感染しないために…

- 性行為のときには必ずコンドームをつけることが有効です。オーラルセックスやアナルセックスでもコンドームをつけましょう。
- 不特定多数の相手との性的接触は感染する (感染させる) リスクが高くなります。

梅毒は免疫ができないので、一度治っても何度でもかかる病気です。予防策をとることが重要です。